

土から還った干支置物

立春明けの二月十一日（土の日）十一時（土の刻）にお役の済んだ干支置物に感謝を込め、ねんごろに弔い、精を抜いて土に還し再生した干支の置物です。

毎年700万ヶもの干支の置物を生産販売している干支置物の代名詞「薬師窯」に環境にも優しく、景気回復を願う「復活の虎置物」を限定販売致します。



■現在の干支塚の様子

皆様から寄せられた干支置物が干支塚の前から堰つたいに入口までたくさん並んでおります。

■昨年の干支供養の様子

精を抜いた干支置物を宝泉寺ご住職の手により、干支割りをして「土に還す」儀式を執り行います。



薬師窯®

平成13年 日本記念日協会により2月11日は「干支供養の日」として登録されました。